

SWYAA国際連盟 活動実績

1. SWYAA国際連盟とは

「世界青年の船」事業、グローバルリーダー育成事業、「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」（以後、「世界青年の船」及び後継事業）で培われた精神を継続させることを目的に、各国で既参加青年のための組織が設立されています。SWYAA国際連盟（Ship for World Youth Alumni Association International）は事業で培われた異文化理解、国際協力、国際平和の実現に向けてのリーダーシップ精神を推進し、支援しています。

2. 参加国

令和3年3月現在、正式加盟29か国、準加盟6か国が登録しましたが、非加盟の関係国を加えると67か国の国々が連携しながら、様々な社会貢献活動を展開しています。

3. 共通の使命と目標

1. 「世界青年の船」及び後継事業の既参加青年のネットワークを継続すること。
2. 加盟各国の友好関係を継続し、連携を強化すること。
3. 自国及び国際社会に貢献する活動に取り組むこと。
4. 自国及び加盟国において、社会に貢献するリーダーを育成すること。
5. 青少年分野を担当する自国政府との連携強化を図ること。
6. 加盟国の大使館との連携強化を図ること。特に日本大使館との連携強化を図ること。
7. 日本人のコミュニティとの関係を深めること。

4. 共通の任務

1. 地域若しくは世界規模で社会貢献、ボランティアの取組、発展的な取組につながるような活動を企画すること。
2. 自国の会員のネットワークを強化すること。
3. 自国の会員及びSWYAA国際連盟加盟国の間で情報交換を強化すること。
4. 日本大使館とのコミュニケーションを図り定期的に活動報告をすること。
5. 「世界青年の船」及び後継事業の既参加青年と新しい参加青年とのコミュニケーションを図ること。
6. 今後、「世界青年の船」の後継事業に参加する青年を支援すること。
7. 既参加青年の正確な情報を把握し、保管すること。

5. 活動内容

1 「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議とは

(通称：既参加青年会議 Ex-PY Conference)

原則年1回、内閣府が実施するSWYAA代表者のための会議。「世界青年の船」及び後継事業参加各国におけるSWYAAの形成・充実とそれを基盤とした各国内での事後活動の展開について情報交換を行うとともに、各国及び日本の既参加青年の有機的な連携による国際的ネットワークの構築に向けた討議を行うことを目的としています。具体的には、SWYAAのネットワークを使って行う社会貢献活動や今後の事後活動の方向性、そして既参加青年がどのように事業に貢献できるかなどを話し合います。

これまでの会議の結果、ホームステイ・ネットワークの構築、事業に協力する既参加青年の指導官の推薦、参加青年のための事前準備マニュアルやナショナル・リーダーのためのハンドブックの作成、「世界青年の船」事業の紹介をするための広報用キット（プロモーション・キット）の作成、メーリングリスト使用のためのルール作り、そして事業参加予定者のためにSWYAAが実施する事前研修のガイドライン作成、といった成果が挙げられました。また、国内と世界に広がる会員のネットワークを活用して文化交流を促進させるとともに、更なるネットワークの強化を目的とした「グローバル・フォト・コンテスト」も平成16年度より4回にわたって開催されました。このほか、平成17年度にはSWYAA共通のロゴを決めるコンテストを開催、平成18年度には異文化理解ハンドブックをデータ化し、ホームページへの掲載を始めました。また、広報用に使用できる公式ビデオ（10分版）も完成しました。平成19年度には「世界青年の船」20周年記念事業の一環として、「世界青年の船」事業の各回の歴史や情報を集約するホームページの作成、SWYカレンダーの作成、チャリティ・ランチの実施及び環境への貢献活動として、「世界青年の船の森」の植林に取り組むことなどが約束されました。平成20年度には国際支援活動として、ケニアで実施している国内避難民支援活動や、スリランカにおける就学支援に対して日本青年国際交流機構が協力することを約束しました。

平成21年度から22年度にかけては、異文化理解教育のための教材を作ったり、「ホームステイ+1（プラスワン）」という名称でホームステイを受け入れながらボランティアなどの「+1（プラスワン）」の体験をさせたりする活動を広めることで合意しました。また、事業出身者でその後、功績を挙げた人の情報や、事業の意義についての参加青年の声を集約する動きも始まりました。

平成28年には加盟32か国の代表により共同声明が発表され、今後、以下の共通活動に取り組んでいく決意が示されました。

- (1) 「SWYAA自然災害復興支援 (SWYAA Natural Disaster Relief)」－自然災害に見舞われた地域に対して、災害直後の支援から継続的な支援まで提供する。
- (2) 「将来のための教育 (Educate for Tomorrow)」－恵まれない状況にいる子供たちに、教育の質の向上や教育の機会を与えるための活動を各国で実施する。

- (3) 「SWYの森 (SWY Forest)」－SWYの森の継続的發展を支援する環境関連事業
- (4) 「献血週間 (Blood Donation Week)」－献血への意識向上と、年1回のSWYAA献血週間の開催を促進する。
- (5) 「差別の無い機会 (Opportunities Without Discrimination)」－「SWYの日」に、差別の撤廃と多様性受容促進に向けた国際的なソーシャルメディアキャンペーンに参加する。
- (6) 「ホームステイ・プラス・ワン (Homestay + 1)」：SWYの既参加青年が、他のSWY参加国を訪れた際に、ホームステイと社会貢献の機会をセットで提供する。

2 SWYAA国際大会 (通称：グローバル・アセンブリー)

運航中の「世界青年の船」事業の寄港地で開催していた既参加青年代表者会議 (インターナショナル・リユニオン) を、平成19年度からはSWYAA国際大会 (英語名称：SWYAA Global Assembly) に名称を変え、活動が活発な国で年1回実施するようになりました。この大会では、社会的な貢献活動を地域若しくは世界規模で推進し、またそのような活動を達成するための方策を協議する「事後活動協議会」を同時開催し、各国の事後活動の状況を集約し、成果を総括します。

- 第1回SWYAA国際大会 ギリシャ (平成19年9月5日～9日)
- 第2回SWYAA国際大会 日本 (平成20年8月21日～24日)
- 第3回SWYAA国際大会 オーストラリア (平成21年9月2日～6日)
- 第4回SWYAA国際大会 エジプト (平成22年10月9日～12日)
- 第5回SWYAA国際大会 メキシコ (平成23年9月28日～10月2日)
- 第6回SWYAA国際大会 バーレーン (平成24年10月4日～8日)
- 第7回SWYAA国際大会 ペルー (平成25年8月29日～9月2日)
- 第8回SWYAA国際大会 トルコ (平成26年8月30日～9月3日)
- 第9回SWYAA国際大会 フィジー (平成27年8月12日～16日)
- 第10回SWYAA国際大会 インド (平成28年9月20日～24日)
- 第11回SWYAA国際大会 UAE (平成29年11月5日～8日)
- 第12回SWYAA国際大会 トンガ (平成30年11月19日～23日)
- 第13回SWYAA国際大会 ロシア (令和元年8月31日～9月5日)

内閣府青年国際交流事業報告書2020

令和2年度「世界青年の船」その後の未来報告会～SWY WAVE～

発 行 内閣府
〒100-8914
東京都千代田区永田町1-6-1合同庁舎第8号館
TEL: 03-6257-1433
FAX: 03-3581-1609
URL: <https://www.cao.go.jp/koryu>

編 集 一般財団法人 青少年国際交流推進センター
〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町2-35-14
東京海苔会館6階
TEL: 03-3249-0767
FAX: 03-3639-2436
URL: <http://www.centerye.org>

編集協力 日本青年国際交流機構
URL: <https://www.iyeo.or.jp/>

令和 2 年度「世界青年の船」その後の未来報告会～SWY WAVE～